

浜の活力再生プラン
令和6～10年度
第3期

1 地域水産業再生委員会

組織名	隠岐海士地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 大江 和彦(海士町長)

再生委員会の構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・海士町漁業協同組合 ・海士町 ・海士いわがき生産(株)
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)ふるさと海士 ・島根県隠岐支庁農林水産局 ・島根県漁業担い手確保・育成支援協議会 ・海士町離島交付金運営協議会

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>【地域の範囲】 島根県隠岐海士地区</p> <p>【対象漁業の種類・経営体数】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">一本釣</td> <td style="width: 25%;">137 経営体</td> <td style="width: 25%;">採介藻</td> <td style="width: 25%;">51経営体</td> </tr> <tr> <td>刺網</td> <td>15 経営体</td> <td>養殖</td> <td>9経営体</td> </tr> <tr> <td>延縄</td> <td>5 経営体</td> <td>定置網</td> <td>5経営体</td> </tr> <tr> <td>桁曳網</td> <td>3経営体</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="text-align: right;">合 計 225 経営体</td> </tr> </table> <p>【漁業者数】 327名(正組合員56名、准組合員271名) ※海士町漁業協同組合業務報告書より (令和6年3月31日現在)</p>	一本釣	137 経営体	採介藻	51経営体	刺網	15 経営体	養殖	9経営体	延縄	5 経営体	定置網	5経営体	桁曳網	3経営体						合 計 225 経営体
一本釣	137 経営体	採介藻	51経営体																		
刺網	15 経営体	養殖	9経営体																		
延縄	5 経営体	定置網	5経営体																		
桁曳網	3経営体																				
			合 計 225 経営体																		

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

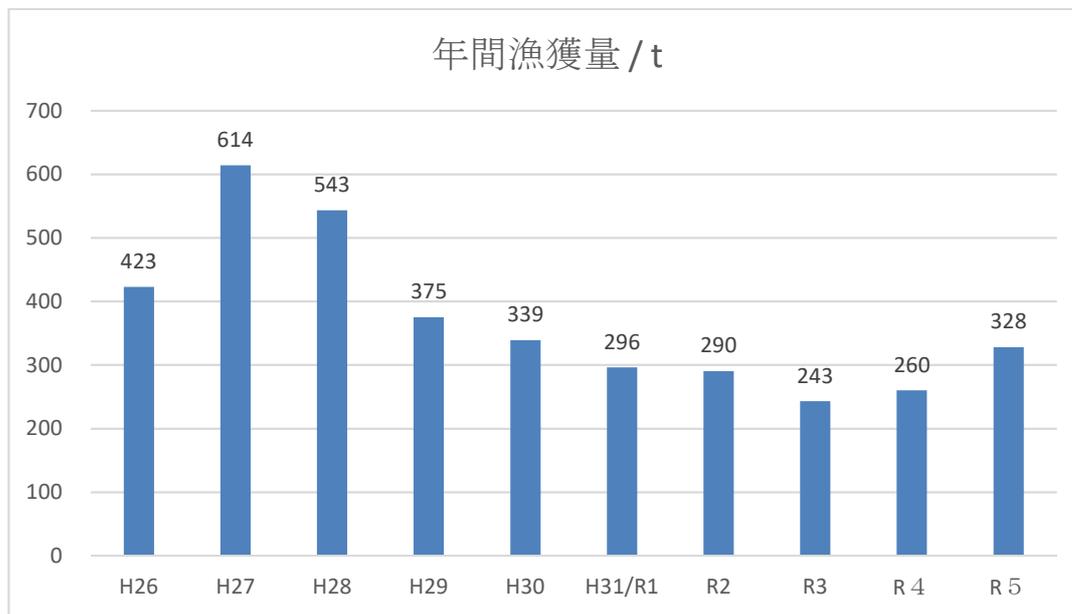
<p>【地区の概要】 島根県隠岐海士地区は島根半島の沖合 60km の日本海に位置する一島一町の離島(中之島・海士町)を対象とし、周囲は対馬暖流と大陸からの冷水塊が交差する日本海でも有数の好漁場であり、その豊かな資源のもとに水産業が営まれてきた。古くは藤原京や平安京の時代、朝廷の御食園(みけつくに)として干しワカメ、アワビを献上し、また江戸から明治にかけては干しイカを長崎俵ものとして中国へ輸出してきた歴史がある。</p> <p>【隠岐海士地区における漁業生産の現状】 地区の漁協は、平成8年に地区内の菱浦、豊田、知々井、御波、崎の5漁協が経営不振から合併して海士町漁業協同組合として一本化した。その前年に崎漁協が行っていた大型定置網は経営不振により地元の建設業者へ譲渡された経過がある。 平成18年に島根県内沿海の20漁協が合併してJFしまねとなったが、海士町漁協は独自性を失うことを危惧してこれに参加せず、県内沿海漁協では唯一独立した単独漁協となっている。地区の漁業は定置網とイカ釣り、その他漁業に大別される。近年の年間漁獲量は平成27年の総漁獲量534トンに対して令和5年は227トンと42%まで減少しており、中でもイカ釣り漁師の多い当町ではイカ不漁が深刻である。現在、販路拡大と単価引き上げに注力を入れており、売上額は回復</p>
--

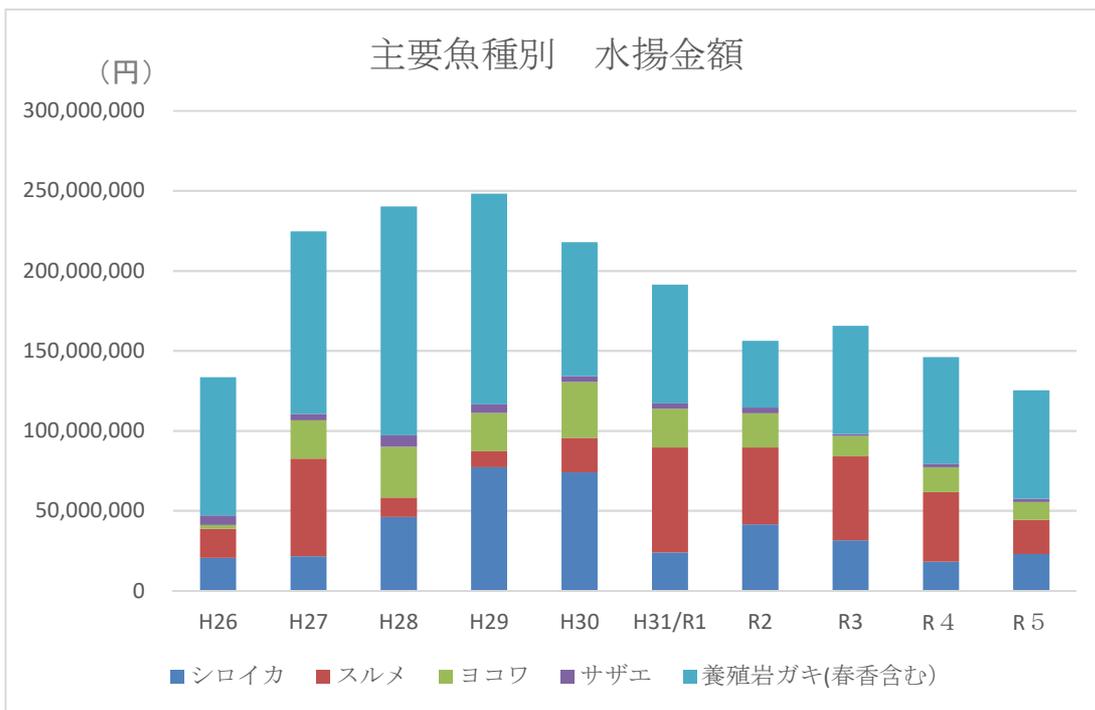
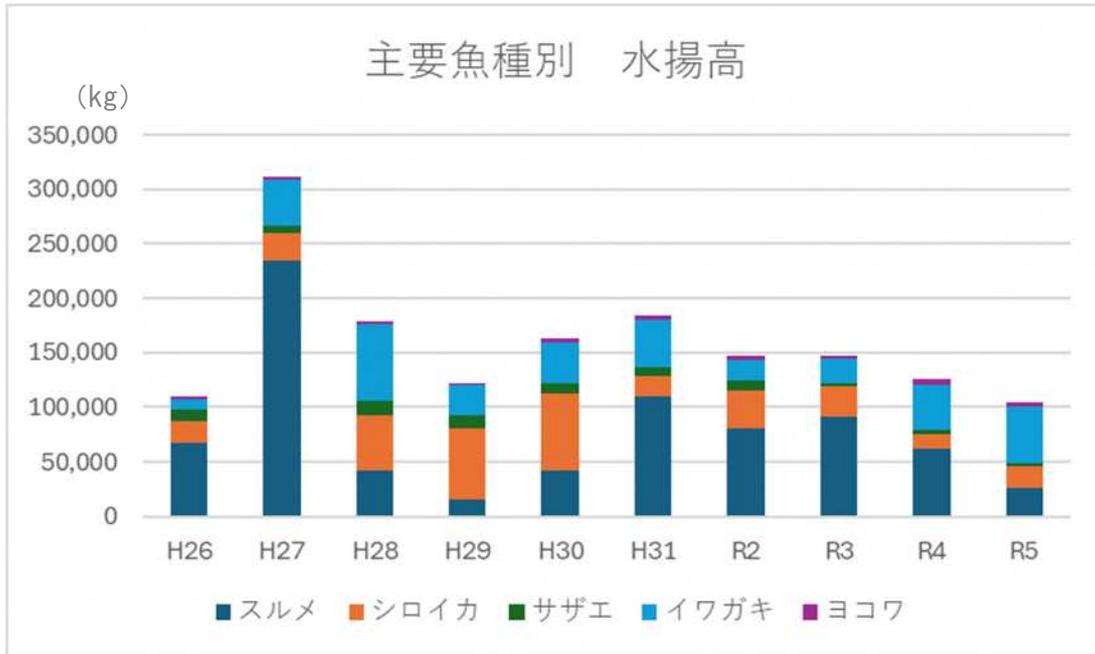
しつつあるが、漁獲量の減少傾向は平成8年の合併以来なお続いている。

また、漁業の担い手については平成8年の合併時に272名いた正組合員が令和6年3月末には5分の1の当たる56名まで減少した。平均年齢は74才で、60才以上が89.4%を占め超高齢化している。これは日本全国の傾向であり、水産業に限らず多くの一次産業において同じような傾向になっているが、このままでは海士町漁協の存続や、海士町の漁師そのものの存続も危ぶまれる。

そのような状況を打開するため、平成14年に地元漁業者2名と移住してきた漁業者1名の3名が養殖いわがきの生産・販売を開始し、また、平成17年には海士町、海士町漁協及び民間企業の共同出資により第三セクター(株)ふるさと海士を立ち上げ、同社が細胞を壊さない冷凍装置(CASシステム)を使って海士地区の漁業者から仕入れた海産物等を使用して水産加工品を製造販売し売上を伸ばしてきた。

海士地区の漁獲量と漁獲高の推移





第三セクター(株)ふるさと海土における現状、課題、今後の方針

【仕入・売上・在庫の現状】

過去はシロイカ、シマメ、いわがき この3種で全体の約85%を占めていたが、直近3年の売上はシロイカ(ケンサキイカ)、シマメ(スルメイカ)が不漁だったこともあり、加工品やその他の販売が目立つ。

・シロイカ(ケンサキイカ)

シロイカは直近では平成30年は71トンと大量に仕入れることができたが、令和元年から昨年までの平均水揚高は22トンと不漁が続いており、安定した仕入れが困難となっている。

シロイカの需要は高く、すぐに売り切れるほどの主力魚種であり、市場出荷と異なり大漁であっても価格が下がることなく定額で引き取るため、漁師の所得向上に大いに貢献している。

・イワガキ

イワガキは平成 27 年から 20 万個前後を仕入れ、平成 26 年から平成 28 年の売り上げは4千万円前後であった。平成 30 年に町営のイワガキ種苗生産施設が整備され、他産地の増産に左右されることがなくなり種苗の安定供給が実現し増産が期待されていたが、種苗の沖だし後の管理不調、新型コロナウイルスの影響等により生産量は伸び悩みを見せている。養殖管理手法の見直しにより歩留まり改善の兆しが見え始めており、今後のイワガキ増産と共に仕入・販売も徐々に増やしていく。

・シマメ(スルメイカ)

シマメは、平成 27 年から全国的な不漁続きとなっているが、本地区においても同様の傾向がみられている。そのため、(株)ふるさと海士でも仕入れが思うようにできない状況が続いている

【課題】

・主力3品のうち、シロイカ・シマメは天然資源に依存しており、近年はイカの不漁が続いているため仕入が不安定である。安定した原料を確保できる体制づくりは喫緊の課題である。

・離島のハンディによる輸送と保管の問題

(株)ふるさと海士が運営する海士町CAS凍結センターは海士町の漁師から魚介類(原料)を買い取ることが前提であるが、海士町は離島のため本土の民間冷凍保管庫への輸送トラックが2週間に一度しか来ないため、海士町の規模の小さい冷凍保管庫では豊漁時に大量に仕入れることができない。

(2) その他の関連する現状等

海士町は、島根半島沖合約60Kmに浮かぶ隠岐諸島の一つ、一島一町の小さな町である。人口2,233人の内、70歳以上が人口の32%を占める超高齢化にある(令和6年4月末現在)。

古くから海洋資源や湧き水、土地に恵まれていたため漁業・農業が盛んに行われていたが、現在は、公務を除き、商業・建設業・不動産業が大きな割合を占めている。一次産業は全体の5%程度で、担い手不足・高齢化が課題である。

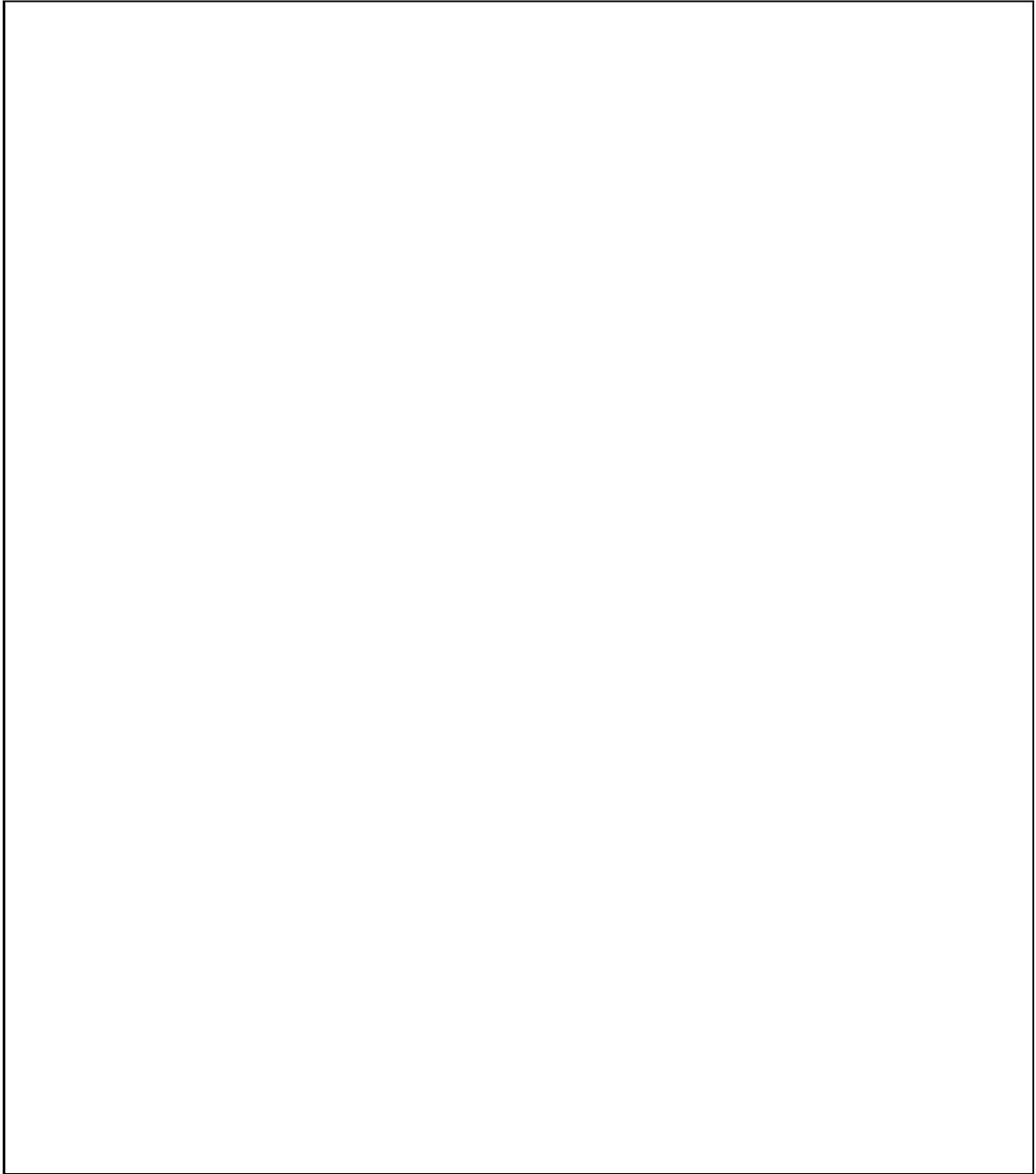
本土から本町への移動は、フェリーまたは高速船に限られている。フェリーは毎日3便定期運航し、周辺3島は内航船での往来が可能であるが、冬季や台風など海が時化した時は全便欠航となり物流も止まる。

観光においては、隠岐諸島がユネスコ世界ジオパークに認定されていることから隠岐四島をめぐるジオ観光ツアーなどが人気である。また、近年新たにホテル、グランピング施設が町内に建設され、非日常や隠岐の自然を体感できる空間を魅力としている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

依然として水産業を取り巻く環境は非常に厳しく、漁獲量と水揚額の減少、漁業者の高齢化や若手の担い手不足、燃料費や資材費の上昇、新造船投資の低迷等多くの問題を抱えている。新型コロナウイルスの影響等により、問題の解決・改善に向けた前期プランの取組が停滞しているため、地区内の水産業の活性化を図るために、以下のとおりの基本方針を定め、主として前期プランの内容を継続して取り組んでいく。

1. 漁業収入向上の取組

【貝類(イワガキ)養殖の生産基盤強化とナマコ漁業支援】

① 種苗生産

- ・安定した種苗生産・供給
- ・種苗生産の担い手育成
- ・種苗生産コストの抑制研究

② 養殖管理

- ・養殖筏の整備及び整備に伴う稚ナマコ増殖
- ・養殖関連施設の維持・更新
- ・作業効率化及び人手不足解消等のための機器開発

③ 営業販売

- ・国内への販売促進活動
- ・海外輸出の促進

【定置網漁業の再構築】

- ・他産地の定置網漁業の優良事例の学習及び導入検討
- ・水産経営の有識者等を招いての経営改善のための勉強会の開催
- ・低価格魚の干物等への加工検討
- ・島内外の加工施設との連携強化

【採介藻への支援】

- ・ワカメ加工の作業効率化機器などの導入検討
- ・ワカメの新たな販路開拓の検討
- ・アワビの稚貝放流と追跡調査、効果的な種苗放流方法等の検討・実践

【延縄と一本釣とイカ釣り】

- ・クエ延縄の魚価向上の取組継続、持続的資源利用の取組検討
- ・島内外の加工施設との連携強化
- ・研修後の独立支援のための漁業研修船貸出

【CAS凍結加工品】

- ・海士町の食材と海士町の食文化をヒントにした商品開発
- ・国内外への販路拡大

【全ての漁業】

- ・土産物の開発、給食用の加工等の販路拡大

2. 漁業コスト削減の取組

- ・漁業経営セーフティネット構築事業への加入促進
- ・省燃燃油活動による燃費の向上
- ・作業共同化、施設共同利用化の推進
- ・離島のハンディ軽減のための海上輸送費支援

3. 漁村活性化の取組

- ・新規漁業就業者の確保・育成
- ・イベントの開催、マリンレジャーの普及
- ・海岸清掃(漂着ごみ含)
- ・漁港・港湾施設整備と維持管理

(3) 資源管理に係る取組

漁業法をはじめ県漁業調整規則、漁業調整委員会指示等、関係法令を遵守し、資源の維持増大と漁業秩序の維持を図る。

令和6年3月に策定した資源管理協定に基づき、対象水産資源の保存及び管理を図る。

(4) 具体的な取組内容

1年目(令和6年度) 所得向上率(基準年比)5.0%

漁業収入向上のための取組	<p>【貝類(イワガキ)養殖の生産基盤の強化とナマコ漁業支援】</p> <p>① 種苗生産</p> <ul style="list-style-type: none">・海士町は、町営種苗生産施設(H30整備)において安定的な種苗生産に取り組む。・海士町は、より効率的に良質な種苗を生産する手法がないか、生産工程の点検を行う。・海士町は、新規採用及び、経験者の中途採用を行い種苗生産の担い手を育てる。 <p>② 養殖管理</p> <ul style="list-style-type: none">・養殖生産者は、令和2年度に整備した養殖作業保管施設を活用し、安定した浄化・出荷作業を行う。・養殖生産者は、斃死が多発している種苗沖だし直後のかご吊飼育工程における管理手法の見直しを行い、試験的に新たな管理手法に取り組む・養殖生産者は、自動磨き機等の作業効率化及び人手不足解消のための機器の改良・新規導入を検討する。 <p>③ 営業販売</p> <ul style="list-style-type: none">・海士いわがき生産(株)は、既存の取引先への営業と増産に伴う新規取引先の開拓に努める。・海士いわがき生産(株)は、計画的増産の数量に応じて商社や、仲買等と連携した海外輸出を促進する。 <p>【定置網漁業の再構築】</p> <ul style="list-style-type: none">・定置漁業経営体は、他産地の定置網漁業の優良事例を学習し、良いところは積極的に取り入れていくことを検討する。・定置漁業経営体は、離島のため1日遅れて本土の市場にあがるため魚価が低くなり、出荷経費(箱代、氷代、手数料、陸海輸送費等)を差し引くと利益がほとんどでなくなることがあるため、干物等に加工して出荷することで出荷経費を減少させることができないか検討する。・定置漁業経営体は、隣島にできた加工施設との連携を強化し、取り扱い魚種・取扱量の増加を目指す。 <p>【採介藻への支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・漁業者グループは、天然及び養殖ワカメの塩蔵・板加工作業の効率化、生産量増大のための機器導入を検討する。・漁業者グループは、現在は本土の加工会社への加工原料としての出荷が主であるが、大型スーパー等への直接出荷等の新たな販路の開拓を目指す。・海士町漁業協同組合は、アワビ稚貝放流について、ダイバーによる丁寧な放流を実施するとともに、放流したアワビがどの程度確認できるか追跡調査を継続する。 <p>【延 縄】</p> <ul style="list-style-type: none">・漁業者は、高単価での取引が定着しているクエの活〆出荷等の取組を継続する。・漁業者は、クエの資源増大に向けた取組について関係漁業者で話し合いを開始する。・漁業者は、隣島にできた加工施設から需要のあるフグ類を安定的に漁獲、出荷できる体制づくりを検討する。
--------------	---

	<p>【一本釣とイカ釣り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚価の良いシロイカ漁やヨコワ釣りを主とした漁業者を新規漁業就業者支援事業等により研修生として育成しても、独立時に多額の設備投資が必要であるためスムーズに独立しがたい。そこで海士町は、中古の漁業研修船を貸し出しスムーズな独立支援を実施する。 <p>【CAS凍結加工品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ふるさと海士は、海士町の食材と海士町の食文化をヒントにした商品開発及び国内外への販路拡大を進める。 具体的には、海士町「島風便」のブランド名で販売しているCAS凍結商品について、食材(魚介類)だけでなく、それらを用いた海士町に伝わる郷土料理(総菜)をCAS凍結したものも商品化して販売するとともに、海士町の名前を全国にPRしていく。 販路拡大については、国内は主力3品(シロイカ、イワガキ、シマメ)等の外食向け販売を一層強化する。国外は商社を介して中国を主体とする東アジア、中東、米国向けシロイカ、イワガキの販売促進に取り組む。 <p>【全ての漁業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海士町漁業協同組合は、海士町で獲れた魚介類を活用し付加価値をつけた缶詰・干物等の土産物の開発・販売に取り組む。 ・海士町漁業協同組合は、海士町給食センターと連携して給食用の魚介類加工を実施する。
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・海士町漁業協同組合は、燃料急騰に備え漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。 ・漁業者は、ドックによる船底清掃や、減速航行、係留中の機関停止などにより燃費の向上を図る。 ・海士町及び海士町漁業協同組合は、イワガキ養殖作業等の共同化や船舶・機器の共同利用化を促進する。 ・海士町は、離島のハンディ軽減のための海上輸送費支援を行う。
漁村の活性化のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・海士町及び海士町漁業協同組合は、漁業者の高齢化、及び担い手不足対策として新規漁業就業者支援事業等を活用し、担い手の確保を図る。 ・海士町は、漁業や魚食に興味を持ってもらえるような魚さばき体験や漁港でのイベントを開催する。 ・海士町は、マリンレジャーの普及を図る。 ・海士町は、漁師及び地区住民を交えた海岸清掃(漂着ごみ含)を実施する。 ・海士町は、漁民が安全安心な漁業経営を営むため町による漁港・港湾施設整備を実施し、施設の老朽化対策を行いつつ適正に維持管理をする。
活用する支援措置等	<p>浜の活力再生・成長促進交付金(国)、離島漁業再生支援交付金(国県)、漁業担い手確保・育成支援事業(国)、地方創生推進交付金(国)、離島流通効率化事業(国)、新農林水産振興がんばる地域応援総合事業(県)他</p>

2年目(令和7年度) 所得向上率(基準年比)7.0%

漁業収入向上のための取組	<p>【貝類(イワガキ)養殖の生産基盤の強化とナマコ漁業支援】</p> <p>① 種苗生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海士町は、引き続き町営種苗生産施設において安定的な種苗生産に取り組む。 ・海士町は、前年度の点検結果を踏まえ、必要に応じて生産工程の見直しを行う。 ・海士町は、新規採用及び、経験者の中途採用を行い種苗生産の担い手を育て
--------------	---

る。

② 養殖管理

- ・養殖生産者は、新たな管理工程を本格的に実践し、歩留まりの向上を図る。
- ・養殖生産者は、自動磨き機等の作業効率化及び人手不足解消のための機器の改良・導入に取り組む。
- ・養殖生産者は、漁業就業者フェア等による新規生産者等の確保と育成に努める。
- ・海士町は、着底した稚ナマコが生育できる環境にあるか、養殖筏下の海底環境を調査する。

③ 営業販売

- ・海士いわがき生産(株)は、既存の取引先への営業と増産に伴う新規取引先の開拓に努める。
- ・海士いわがき生産(株)は、計画的な増産の数量に応じて商社や、仲買等と連携した海外輸出を促進する。

【定置網漁業の再構築】

- ・定置漁業経営体は、学習した他産地の良いところを海士町において導入できるか検討する。
- ・定置漁業経営体は、水産経営の有識者等を招いて経営改善のための勉強会を開催する。
- ・定置漁業経営体は、隣島の加工施設での取り扱い魚種拡大に向けて具体的候補魚種の提案を行う。
- ・定置漁業経営体は、低価格魚の干物等への加工を検討する。

【採介藻への支援】

- ・漁業者グループは、天然及び養殖ワカメの塩蔵加工等の作業効率化機器などについて検討する。
- ・漁業者グループは、新たな販路開拓の検討を行う。
- ・海士町漁業協同組合は、アワビのダイバーによる稚貝放流と放流アワビの追跡調査を継続実施するとともに、調査結果の分析を行う。

【延 縄】

- ・漁業者は、クエの魚価向上の取組を継続する。
- ・漁業者は、前年度の話し合い結果をもとにクエの資源保護のためのルール作りを行う。
- ・漁業者グループで共同し、隣島の加工施設にフグ類を安定供給する。
- ・漁業者は、フグの混獲物であるサメ類の加工について、加工施設に提案する。

【一本釣とイカ釣り】

- ・海士町は、新規就業者への中古漁業研修船の貸し出しにより独立を支援する。

【CAS凍結加工品】

- ・(株)ふるさと海士は、海士町の食材と海士町の食文化をヒントにした商品開発及び国内外への販路拡大を進める。

【全ての漁業】

- ・海士町漁業協同組合は、海士町で獲れた魚介類を活用した缶詰等の土産物を開発・販売に取り組む。
- ・海士町漁業協同組合は、海士町給食センターと連携して給食用の魚介類加工を実施する。

漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 海士町漁業協同組合は、燃料急騰に備え漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。 漁業者は、ドックによる船底清掃や、減速航行、係留中の機関停止などにより燃費の向上を図る。 海士町及び海士町漁業協同組合は、イワガキ養殖作業等の共同化や船舶・機器の共同利用を促進する。 海士町は、離島のハンディ軽減のための海上輸送費支援を行う。
漁村の活性化のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 海士町及び海士町漁業協同組合は、漁業者の高齢化、及び担い手不足対策として新規漁業就業者支援事業等を活用する。 海士町は、漁業や魚食に興味を持ってもらえるような魚さばき体験や漁港でのイベントを開催する。 海士町は、マリンレジャーの普及を図る。 海士町は、漁師及び地区住民を交えた海岸清掃(漂着ごみ含)を実施する。 海士町は、漁民が安全安心な漁業経営を営むため町による漁港・港湾施設整備を実施し、施設の老朽化対策を行いつつ適正に維持管理をする。
活用する支援措置等	浜の活力再生・成長促進交付金(国)、離島漁業再生支援交付金(国県)、漁業担い手確保・育成支援事業(国)、地方創生推進交付金(国)、離島流通効率化事業(国)、新農林水産振興がんばる地域応援総合事業(県)他

3年目(令和8年度) 所得向上率(基準年比)10.0%

漁業収入向上のための取組	<p>【貝類(イワガキ)養殖の生産基盤の強化とナマコ漁業支援】</p> <p>① 種苗生産</p> <ul style="list-style-type: none"> 海士町は、引き続き町営種苗生産施設において安定的な種苗生産に取り組む。 海士町は、採用者を指導育成し担い手として育てる。 <p>② 養殖管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 養殖生産者は、養殖管理工程マニュアルを点検再整理し、安定生産できる体制を強化する。 養殖生産者は、引き続き漁業就業者フェア等による新規生産者等の確保と育成に努める。 海士町漁業協同組合は、前年度の調査結果を踏まえ、必要に応じて養殖筏下の落ちガキ清掃等を行う。 <p>③ 営業販売</p> <ul style="list-style-type: none"> 海士いわがき生産(株)は、引き続き既存の取引先への営業と増産に伴う新規取引先の開拓に努める。 海士いわがき生産(株)は、計画的増産の数量に応じて商社や、仲買等と連携した海外輸出を促進する。 <p>【定置網漁業の再構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定置漁業経営体は、学習した他産地の良いところを実践導入していく。 定置漁業経営体は、水産経営の有識者からの助言を参考に、経営改善に努める。 定置漁業経営体は、隣島の加工施設に新規魚種を試験出荷する。 定置漁業経営体は、低価格魚の干物の試験製造・試験販売を実施する。 <p>【採介藻への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漁業者グループは、天然及び養殖ワカメの塩蔵加工等の作業効率化機器などについて検討する。 漁業者グループは、前年度の調査結果を踏まえ、より効果的なアワビの種苗放
--------------	---

	<p>流手法について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 海士町漁業協同組合は、引き続きアワビのダイバーによる稚貝放流と放流アワビの追跡調査を行う。 <p>【延 縄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漁業者は、クエの魚価向上の取組を継続する。 漁業者は、クエの資源保護のため、前年に策定したルールに基づいた操業を開始する。 漁業者は、隣島の加工施設へのフグ類安定供給の取組を継続する。 漁業者は、隣島の加工施設へサメ類を試験的に出荷する。 <p>【一本釣とイカ釣り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海士町は、新規就業者への中古漁業研修船の貸し出し支援及び新たな中古漁業研修船を導入する。 <p>【CAS凍結加工品】</p> <ul style="list-style-type: none"> (株)ふるさと海士は、海士町の食材と海士町の食文化をヒントにした商品開発及び国内外への販路拡大を進める。 <p>【全ての漁業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海士町漁業協同組合は、海士町で獲れた魚介類を活用した缶詰等の土産物の開発・販売に取り組む。 海士町漁業協同組合は、海士町給食センターと連携して給食用の魚介類加工を実施する。
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 海士町漁業協同組合は、燃料急騰に備え漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。 漁業者は、ドックによる船底清掃や、減速航行、係留中の機関停止などにより燃費の向上を図る。 海士町及び海士町漁業協同組合は、イワガキ養殖作業等の共同化や船舶・機器の共同利用化を促進する。 海士町は、離島のハンディ軽減のための海上輸送費支援を行う。
漁村の活性化のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 海士町及び海士町漁業協同組合は、漁業者の高齢化、及び担い手不足対策として新規漁業就業者支援事業等を活用する。 海士町は、漁業や魚食に興味を持ってもらえるような魚さばき体験や漁港でのイベントを開催する。 海士町は、マリンレジャーの普及を図る。 海士町は、漁師及び地区住民を交えた海岸清掃(漂着ごみ含)を実施する。 海士町は、漁民が安全安心な漁業経営を営むため町による漁港・港湾施設整備を実施し、施設の老朽化対策を行いつつ適正に維持管理をする。
活用する支援措置等	<p>浜の活力再生・成長促進交付金(国)、離島漁業再生支援交付金(国県)、漁業担い手確保・育成支援事業(国)、地方創生推進交付金(国)、離島流通効率化事業(国)、新農林水産振興がんばる地域応援総合事業(県)他</p>

4年目(令和9年度) 所得向上率(基準年比)12.0%

漁業収入向上のための取組	<p>【貝類(イワガキ)養殖の生産基盤の強化とナマコ漁業支援】</p> <p>① 種苗生産</p> <ul style="list-style-type: none"> 海士町は、引き続き町営種苗生産施設において安定的な種苗生産に取り組む。 海士町は、採用者を指導育成し担い手として育てる。
--------------	--

	<p>② 養殖管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖生産者は、修正した管理工程マニュアルに基づき、安定生産に努める。 ・養殖生産者は、引き続き漁業就業者フェア等による新規生産者等の確保と育成に努める。 ・養殖生産者は、養殖筏を適切に管理し、ナマコの資源保護培養の場としての機能を維持する。 <p>③ 営業販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海士いわがき生産(株)は、引き続き既存の取引先への営業と増産に伴う新規取引先の開拓に努める。 ・海士いわがき生産(株)は、計画的増産の数量に応じて商社や、仲買等と連携した海外輸出を促進する。 <p>【定置網漁業の再構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置漁業経営体は、学習した他産地の良いところを実践導入する。 ・定置漁業経営体は、水産経営の有識者からの助言を参考に、経営改善を進める。 ・定置漁業経営体は、隣島の加工施設への出荷魚種、出荷量を増やす。 ・定置漁業経営体は、低価格魚の干物への製造・試験販売結果を踏まえ施設整備の検討をする。 <p>【採介藻への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者グループは、天然及び養殖ワカメの塩蔵加工等への作業効率化機器などを導入する。 ・海士町漁業協同組合は、検討した効果的なアワビの放流方法を試験的に実施し、放流アワビの追跡調査を実施する。 <p>【延 縄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、クエの魚価向上の取組を継続する。 ・漁業者は、クエの資源保護のため、前年に策定したルールに基づいた操業を継続する。 ・漁業者は、隣島の加工施設へのフグ類安定供給の取組を継続する。 ・漁業者は、隣島の加工施設へのサメ類の出荷に本格的に取り組む。 <p>【一本釣とイカ釣り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海士町は、新規就業者への中古漁業研修船の貸し出しを継続する。 <p>【CAS凍結加工品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ふるさと海士は、海士町の食材と海士町の食文化をヒントにした商品開発及び国内外への販路拡大を進める。 <p>【全ての漁業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海士町漁業協同組合は、海士町で獲れた魚介類を活用した缶詰等の土産物の開発・販売に取り組む。 ・海士町漁業協同組合は、海士町給食センターと連携して給食用の魚介類加工を実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海士町漁業協同組合は、燃料急騰に備え漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。 ・漁業者は、ドックによる船底清掃や、減速航行、係留中の機関停止などにより燃費の向上を図る。 ・海士町及び海士町漁業協同組合は、イワガキ養殖作業等の共同化や船舶・機

	<p>器の共同利用化を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海士町は、離島のハンディ軽減のための海上輸送費支援を行う。
漁村の活性化のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・海士町及び海士町漁業協同組合は、漁業者の高齢化、及び担い手不足対策として新規漁業就業者支援事業等を活用する。 ・海士町は、漁業や魚食に興味を持ってもらえるような魚さばき体験や漁港でのイベントを開催する。 ・海士町は、マリンレジャーの普及を図る。 ・海士町は、漁師及び地区住民を交えた海岸清掃(漂着ごみ含)を実施する。 ・海士町は、漁民が安全安心な漁業経営を営むため町による漁港・港湾施設整備を実施し、施設の老朽化対策を行いつつ適正に維持管理をする。
活用する支援措置等	<p>浜の活力再生・成長促進交付金(国)、離島漁業再生支援交付金(国県)、漁業担い手確保・育成支援事業(国)、地方創生推進交付金(国)、離島流通効率化事業(国)、新農林水産振興がんばる地域応援総合事業(県)他</p>

5年目(令和10年度) 所得向上率(基準年比)14.0%

漁業収入向上のための取組	<p>【貝類(イワガキ)養殖の生産基盤の強化とナマコ漁業支援】</p> <p>① 種苗生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海士町は、引き続き町営種苗生産施設において安定的な種苗生産に取り組む。 ・海士町は、採用者を指導育成し担い手として育てる。 <p>② 養殖管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖生産者は、引き続き修正した管理工程マニュアルに基づき、安定生産に努める。 ・養殖生産者は、引き続き漁業就業者フェア等による新規生産者等の確保と育成に努める。 ・養殖生産者は、養殖筏を適切に管理し、ナマコの資源保護培養の場としての機能を維持する。 <p>③ 営業販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海士いわがき生産(株)は、引き続き既存の取引先への営業と増産に伴う新規取引先の開拓に努める。 ・海士いわがき生産(株)は、計画的増産の数量に応じて商社や、仲買等と連携した海外輸出を促進する。 <p>【定置網漁業の再構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置漁業経営体は、実践導入した他産地の良いところの効果を検証する。 ・定置漁業経営体は、水産経営の有識者からの助言を参考にした、経営改善の取組を継続する。 ・定置漁業経営体は、隣島の加工施設への出荷を継続する。 ・定置漁業経営体は、低価格魚の干物製造のための施設を整備する。 <p>【採介藻への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者グループは、導入した機器等を用いて塩蔵加工ワカメの生産を強化する。 ・海士町漁業協同組合は、アワビのダイバーによる効率的稚貝放流と放流アワビの追跡調査を継続実施する。 <p>【延 縄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、クエの魚価向上の取組を継続する。
--------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、クエの資源保護のため、前年に策定したルールに基づいた操業を継続する。 ・漁業者は、クエの資源動向を見て、必要に応じてツールの見直しを検討する。 ・漁業者は、隣島の加工施設へのフグ類安定供給の取組、サメ類の出荷を継続する。 <p>【一本釣とイカ釣り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海士町は、新規就業者への中古漁業研修船の貸し出しを継続する。 <p>【CAS凍結加工品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ふるさと海士は、海士町の食材と海士町の食文化をヒントにした商品開発及び国内外への販路拡大を進める。 <p>【全ての漁業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海士町漁業協同組合は、海士町で獲れた魚介類を活用した缶詰等の土産物の開発・販売に取り組む。 ・海士町漁業協同組合は、海士町給食センターと連携して給食用の魚介類加工を実施する。
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・海士町漁業協同組合は、燃料急騰に備え漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。 ・漁業者は、ドックによる船底清掃や、減速航行、係留中の機関停止などにより燃費の向上を図る。 ・海士町及び海士町漁業協同組合は、イワガキ養殖作業等の共同化や船舶・機器の共同利用化を促進する。 ・海士町は、離島のハンディ軽減のための海上輸送費支援を行う。
漁村の活性化のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・海士町及び海士町漁業協同組合は、漁業者の高齢化、及び担い手不足対策として新規漁業就業者支援事業等を活用する。 ・海士町は、漁業や魚食に興味を持ってもらえるような魚さばき体験や漁港でのイベントを開催する。 ・海士町は、マリンレジャーの普及を図る。 ・海士町は、漁師及び地区住民を交えた海岸清掃(漂着ごみ含)を実施する。 ・海士町は、漁民が安全安心な漁業経営を営むため町による漁港・港湾施設整備を実施し、施設の老朽化対策を行いつつ適正に維持管理をする。
活用する支援措置等	<p>浜の活力再生・成長促進交付金(国)、離島漁業再生支援交付金(国県)、漁業担い手確保・育成支援事業(国)、地方創生推進交付金(国)、離島流通効率化事業(国)、新農林水産振興がんばる地域応援総合事業(県)他</p>

(5) 関係機関との連携

本プランで策定した事項を効果的に推進するため、行政機関(島根県)、民間業者((株)ふるさと海士)、各種協議会との連携を強化するとともに、卸、仲買、小売店や流通業者、水産機械・器具業者等との連携も強化して施策の推進を図る。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

毎年7月までに漁協などの総会資料を基に、本プランにかかわる民間事業者((株)ふるさと海士)、協議会等で取り組みへの評価・分析を行い施策の推進を図る。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

(3) 所得目標以外の成果目標

いわがき春香の出荷数量の増加	基準年	令和5年度:	82,015	(個)
	目標年	令和10年度:	234,250	(個)
新規漁業就業者の増加	基準年	令和5年度:	0	(人)
	目標年	令和10年度:	5	(人)

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>①所得向上の取組の成果目標:いわがき春香の出荷数量の増加 島根県、隠岐郡の市町村及び漁協から構成される隠岐のいわがきブランド化推進協議会への報告資料をデータ元とし、令和5年の海士町のいわがき春香の出荷数量を基準値として設定し目標年までに146%の増加を目標とした。イワガキは種苗生産・購入してから32箇月以降に出荷できるが、これまでの種苗購入実績と購入計画値に歩留まりを推定して出荷数量を算定した。なお、上記算定については、直近年の実績値をもとに基準年の数値を算出し、計画各年の数値についてもこれまでの種苗購入実績および今後の購入計画を踏まえて算出しており妥当なものとする。</p> <p>②漁村活性化の取組の成果目標:新規漁業就業者の増加 海士町および海士町漁業協同組合が取り組んでいる新規漁業就業者支援事業等による過去10年の就業者平均が1.2人/年であることから、目標年までに5名の増加を目標とした。 町が貸出できる漁業研修船や住居など就業者に提供できる数に限りがあるため、妥当なものとする。</p>
--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
離島漁業再生支援交付金(国県)	生産力の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入。
地方創生推進交付金(国)	販促活動の促進、生産力の向上、省力・省コスト化のための新技術導入・試験等のソフト事業。